

がんばろう志賀！がんばろう能登！

しまじろうが町内の 保育園・幼稚園を訪問



幼児向け通信講座・ベネッセ
コーポレーションの人気キャラ
クター『しまじろう』が、被災
地にいる園児を応援しようと、
2月29日(木)、高浜・とき保育園
とすばる幼稚園を訪問しました。

園児や職員は、テーマソング
『せいかいはパラダイス』のリズム
に合わせて元気に手をたたいた
り、飛び跳ねたりして楽しいひ
とときを過ごしました。

これまでもベネッセでは、小
学校などに文房具や学習教材を
支援してきましたが、これから
は未就学児の心と体のケアにも
努めたいとしています。



がんばろう志賀！がんばろう能登！

日本サッカー協会 & 日本財団が小中学校へ



トップアスリートで構成する日本財団HEROESと日本サッカー協会が、町内小中学校や保育園などを訪れ、子どもたちとスポーツを通して交流しました。

2月22日(木)は、サッカー元日本代表の巻誠一郎さんやプロテニスの笹原龍選手、プロバスケの岩下達郎選手、アーティスティックスイミング元日本代表の杉本美沙さんから12人が、富来小学校児童93人と交流。また富来中学校生徒66人も交流し、一緒に体を動かしました。

2月29日(木)は、車いすバスケットボール元日本代表の根木慎志さんやサッカー元日本代表の巻さんら11人が、志賀小学校3、6年生約400人とボッチャやスケートボード、鬼ごっこなどで体を動かしました。

アスリートと交流した子どもたちは笑顔いっぱいでした。



1月29日(月)、30日(火)



愛知県のNPO法人『愛知ネット』が、志賀町役場で炊き出しを行いました。地域住民や全国から支援にきている職員用にうどん各日約200食が用意されました。『愛知ネット』は、「つながりで、救う。」をモットーに、1月当初から志賀町の避難所運営の支援を行うほか、避難者のニーズを聞き取りながら、自炊するための食材支援なども手がけています。

広がる支援の輪

Fight!

がんばろう! 志賀町



1月20日(土)、21日(日)



志賀町文化ホールと富来活性化センターで、陸上自衛隊第3師団(近畿)第3音楽隊による慰問演奏がありました。隊員7人が『情熱大陸』や『ミッキーマウスマーチ』など7曲を演奏。参加者は手や足でリズムを刻んだり、口ずさんでいました。被災者に寄り添うような優しい演奏に、住民は久しぶりの笑顔を取り戻し「被災して気持ちが沈んでいたが、素晴らしい演奏で心が安らいだ」と話しました。

2月12日(月)休



スリランカのロドニー・ペレーラ駐日大使が、在日スリランカ人と共に志賀町を訪れ、スリランカ・カレーの炊き出しやお茶・救援物資の提供を行いました。

2月17日(土)



鳥取県の平井伸治知事が、志賀町を訪れ、倒壊家屋や仮設住宅になるトレーラーハウスなどを視察しました。町長と面談し、復旧の状況や地域の特性に応じ、支援を柔軟に継続する考えを示しました。鳥取県は、関西広域連合の一員として、災害支援制度に基づき志賀町に職員を派遣しています。支援物資の管理、がれき撤去、家屋被害認定の業務に従事する鳥取県職員が志賀町で活動しています。



2月21日(水)



東京のIT企業バルテックが、復興支援として志賀町に授乳室4室を寄贈しました。本庁舎の子育て支援課前や富来活性化センター、児童館、保健福祉センターに設置しました。町内公共施設では初めての導入です。授乳室は高さ2m、幅・奥行き1.3m、鍵や換気扇を備え、高い防音性があります。

3月4日(月)



名古屋工業大学の北川啓介教授が開発した『インスタントハウス』が能登リゾートエリア増穂浦(相神)に15棟設置されました。

直径約5m、高さ約4.3mの円すい形で、ポリエステル製の防災シートを固定後、空気で膨らませ、中から発泡ウレタンの断熱材を吹き付ける仕組み。1時間半から2時間ほどで設置できる手軽さのほか、遮音性と断熱性に優れています。15棟で最大120人宿泊でき、町で活動するボランティアなどの宿泊場所として提供しています。



3月18日(月)



被災した人々を励まそうと、航空自衛隊の『ブルーインパルス』が、能登半島の上空を飛行しました。志賀町の柴木公園には、大勢の観客が集まりました。午後1時過ぎ、ごう音と共に編隊を組んだ6機の機体が



白いスモークを出しながら上空を飛行。住民は手をふったり写真を撮ったりしていました。

3月4日(月)



アゼルバイジャンのギュルセル・イスマイルザーデ駐日大使が志賀町を訪れ、稲岡町長と懇談し、避難所や仮設風呂を視察しました。大使は「志賀町は私たちにとって大切な場所。力になれることがあれば何でも言ってほしい」と話しました。

3月13日(水)



漫画やアニメでおなじみの『サザエさん』が、被災地慰問の一環で志賀小学校に登場しました。児童の登校時間に合わせて姿を見せ、玄関であいさつ運動に取り組みました。通学バスから降りた子どもたちは、サザエさんを見つけると大はしゃぎで駆け寄り、元気にあいさつしました。

3月7日(木)



避難所の西浦防災センター駐車場で、日本財団による仮設個室銭湯などの供用が開始されました。3月2日に通水を再開した西浦地区ですが、宅内配管の損傷により自宅で入浴できない住民がいることから設置されました。水源として近隣の農業用水を活用するため、愛媛県今治市から派遣された車載式浄化装置で浄化した水を使用。また、水処理事業会社・メタウォーター(株)の技術者も現地対応しました。



／おはようございます♪／

